

【 議員と話そう -IV】 報告書

開催日 2022年10月22日(土) 9:30~11:30 於:ふらっと

参加者 11名 (議員3名、市民団体8団体8名、)

市議会議員 3名 (敬称略、あいうえお順)	市民団体 (8団体+議員所属3団体)	
伊藤 謙一	袋井生活と健康を守る会	白木を守る会
竹野 昇	NPO 法人すずらんの会	新日本婦人の会袋井支部
竹村 眞弓	ふくろい再エネを進める会	袋井青年会議所
	NPO 法人国際教育文化協会	浜岡原発を考える袋井の会
	NPO 法人健康文化クラブ	花車の会
	スマイルリンクパソコンサークル	

《開催趣旨 地域課題の解決に向けて協働できることを模索する》

1、活動紹介：現在取り組んでいる活動、専門分野の紹介。

☆台風15号の被災状況報告他(伊藤議員から)

2、「課題共有」と取り組みに向けて意見交換



① 「公的サービス」と「民間委託サービス」について

☆待機児童対策として、市では放課後児童クラブ事業を民間会社⑤に委託

袋井北小学校の4年生以上は、来年度から⑤に所属(小学校の理科室等で対応予定)

☆現在、市内では地域組織やNPO法人が放課後児童クラブ事業を実施している

☆社会的傾向として中高生の部活動なども同様に民間へ移行しつつある

★課題解決のため移行は「止む無し」ではあるが市は現状のサービス提供団体と情報共有を図り民意を汲み取ったうえで課題解決への道筋をたどって頂きたい

★双方のサービスのメリット、デメリットは有るということ認識し、ニーズに対応した適切な取り組みがなされることを市民一人ひとりが注視していくことが必要

★人口減少、税収減少で公共サービスから民間委託への流れは必然
企業も「**報徳の精神**」と共に「**経営**」をして頂くことを切に願う

② 「補聴器購入の助成」について

☆70歳以上の50%以上は加齢性難聴があるといわれている

☆「難聴」から交流が減り「うつ」「認知症」につながり、交通事故等の危険性も高まる

★「補聴器」は一般的に10万円前後で販売されており性能も向上しているが日本では普及率が低い

★補聴器購入の保険適応や支援制度が無いことが低普及の原因でもある

★地方自治体で助成制度実施の傾向が広がりつつあり袋井市にも期待する



③ 「脱炭素社会実現に向けた環境講座」

☆ふくろい再エネを進める会主催

協働まちづくり事業「市民講演会」in 袋井東コミセン

12/10「地球温暖化の現状と二つの未来～

運命の分岐点はすぐそこに」(講師:大場正春氏)

★他人事ではなく自分の問題として認識し一人一人が今できることを見つけて取り組む必要があります。多くの団体を通じて発信していきたい事業です。

ふりかえり

市民団体、議員それぞれの取り組む課題を出し合い情報共有を図る事からスタートするこの会です。

参加者すべての取り組みを聞くだけでも大いに刺激を受けられます。

まちづくりに寄せる熱い想いが化学反応を起こし様々なアクションにつながります。

毎回新鮮さと向上心の維持を忘れず!

新しい団体、議員の参加を期待します。

◆次回 1月14日 開催予定

【 議員と話そう - I 】 報 告 書

開催日 2022年1月15日(土) 10:00~11:30 於:ふらっと
 参加者 22名 (議員6名、市民団体14団体15名、市職員1名)

市議会議員 6名 (敬称略、あいうえお順)	市民団体 (14団体)	
伊藤 謙一	あそびば もこ・あ・もこ	白木を守る会
太田 裕介	NPO 法人すずらんの会	英会話倶楽部 REIWA
近藤 正美	EM ショップはこべの会	生活と健康を守る会
竹野 昇	認定 NPO 法人 COMPAS	袋井青年会議所
竹村 眞弓	NPO 法人国際教育文化協会	花車の会
村松 和幸	NPO 法人健康文化クラブ	ありがとう広め隊
	浜岡原発を考える袋井の会	新日本婦人の会

1, 活動紹介

- ・参加者全員が3分以内で自己紹介を兼ねて発表
- ・各団体で配布資料を準備
- ・ペーパーレスを基本に、ふらっとでは登録団体一覧表配布
団体紹介ページと議員の紹介記事を拡大掲示
- ・CSR 紹介 (中北薬品株式会社の活命茶&事業紹介資料配布)



2, 質問

紹介資料や発表についての質問



3, 活動の中で見えてきた課題について意見交換

- ・障がい者自立支援、雇用の問題
- ・高齢者、障がい者の交通手段の不足
- ・市民活動の会場不足
(子育て支援、講座開催、イベント開催他)
- ・袋井市協働まちづくり事業の在り方について
- ・放課後児童クラブの民営化の課題

4, 今後の開催について

- ・次回は4月に予定
- ・定例化して「協働」につながることを目指す。
- ・市民団体、議員の方々それぞれ、より多くの参加を促しネットワークを広げる。



【振り返り】

- ・平成18年ふらっと開設当初の事業「〇〇と話そう」を呼び起こし、初心に帰って「協働まちづくり」に取り組みたいと思います。
- ・議員の皆様の取り組みと団体の活動を知り合う機会になればと開催しました。
- ・情報共有から課題共有そして協働への道程を辿る第一歩を踏み出しました。
- ・短い時間ではありましたが、場を共有し「出会い」と今後の方向付けができました。
- ・今後必要に応じて、テーマの絞り込みや情報収集を行いたいと思います。
- ・参加者を的確に端的に紹介し、意見交換に時間をかけられるようにしたい。
- ・議員の皆さんも遠慮なく発言していただける雰囲気を作りたい。
- ・自主的に紹介資料を準備いただくようにする。
- ・ペーパーレスも大切ですが、ペーパーも必要な場合もある。資料の内容も的確に端的な簡素化したものであってほしい。

【 議員と話そう -VI】 報 告 書

開催日 2024年1月27日(土) 9:30~11:30 於:ふらっと

参加者 9名 (議員3名、市民団体5団体6名、)

市議会議員3名(敬称略、あいうえお順)	市民団体(5団体+議員所属複数団体)	
木下 正	遠江断酒会	NPO 法人健康文化クラブ
竹野 昇	ユースネットふくろい	花車の会・再エネを進める会
竹村 眞弓	袋井中部包括支援センター	浜岡原発を考える会・国際交流協会 他
	浅岡 道範 (FM ラジオ)	

《開催趣旨》

地域課題の解決に向けて協働できることを模索する

1. 活動紹介: 現在取り組んでいる活動、専門分野の紹介。

☆遠江断酒会

アルコールに関する悩みを持つ家族を支援するために「相談会」「交流会」を定期的に開催している。森、袋井地域で困っている方々が気軽に相談できる交流の場づくり。

☆ユースネットふくろい

若者の居場所を偶数月の第3月曜日ふらっとに於いて開催。イベントや地域づくりに参加し社会貢献につながる人材育成を目指す。ひきこもり支援、就労支援、情報交換の場。

☆袋井中部包括支援センター

袋井北部、中部、南部の区分では支援が行き届きにくい。地域に密着した支援体制が必要。高齢者の居場所、助け合いの仕組み作り、ニーズに対応した取り組み等課題は日々更新

☆浅岡道範

袋井FMラジオ局開設を目指す。高齢者にも耳から市内の情報が得られるメリットがある。24時間多様な情報を発信することで、経済効果や文化振興、地域活性の支援につながる。

☆NPO 法人健康文化クラブ

ふらっと事務局業務他、生涯学習講座を磐田市と袋井市で開催。

◆市議会議員の取り組み及び課題と感じていること

- ◇高齢者の補聴器の購入補助
- ◇高校生の地域参加
- ◇若者の組織力
- ◇ひきこもり支援
- ◇災害対策
- ◇助け合い活動
- ◇自発的な地域貢献

居場所に通じる事

- * 寂しさ * 生きづらさ * 孤独感
- * 劣等感 * 不安 * 疎外感 * 無力感
- 悩みがいっぱいでも
- ❖ 独りぼっちではない
- ❖ 仲間や支えてくれる人が居る
- ❖ つながっている
- ❖ 共感する人が居る

ここに来れば前を向ける
これが居場所

「居場所」は「市民活動」
そのものの姿を映しています。
手を携えて進みましょう!

居場所づくりに取り組む団体

- 断酒会
- ユースネットふくろい
- 地域包括支援センター
- ふらっと

★本当に居場所に来てほしい人に伝えたい

ゆるやかな表現方法で情報を発信
色々な手段で発信(SNS・ラジオ)
多様な団体情報を共有する
あきらめず地道に継続